



香川県立 高等技術 学校

GI JITSU

輝け
技術と君



電気システム科 自動車工学科
建築システム科 機械システム科



香川県立高等技術学校 高松校

〒761-8031 香川県高松市郷東町587-1 TEL:087-881-3171 FAX:087-881-6786
<https://www.pref.kagawa.lg.jp/kotogijutsu/index.html>

令和6年より本校の愛称は「さんテク」です。

愛称内の「さん」には①讃岐の讃(さん)②職業能力に関する技能・知識・開発の3つ③香川県の太陽がさんさんと降り注ぐイメージが込められています。

香川県立高等技術学校 高松校

確かな技術を受け継ぎ、 「ものづくり」に邁進する次の 世代を担う技術者を育てます。

香川県立高等技術学校技術専門コースは、2年間の教育訓練で本県の基幹となる各産業分野で「ものづくり」を担う技術者を育てます。就職に強い人材を育てるため、専門分野に必要な資格取得に積極的に取り組み、少人数クラスで個人指導に重点を置いています。

香川県立高等技術学校 高松校



基本理念

「ものづくり」の分野で必要とされる高度な技能と知識を備えた技術者を育成し、本県経済社会の発展に寄与する。

教育訓練目標

- 地域産業を支える、実践的な技能者の育成
- 地域産業の要請に応える、技術的な技能者の育成
- 地域産業を発展させる創造的な技能者の育成

沿革・概要

昭和24年	4月	香川県立高松公共職業補導所を設置
昭和33年	7月	高松職業訓練所に改称
昭和40年	7月	現在地（高松市郷東町）に新施設が完成し移転
昭和42年	10月	香川県立高松高等技術学校に改称
昭和50年	4月	高卒者対象の訓練科を新設
平成2年	4月	高卒者訓練に2年制を導入
平成12年	4月	対象者別にカレッジコース、テクニカルコース、アビリティコースに再編
平成23年	4月	高松高等技術学校と丸亀高等技術学校を統合し、高等技術学校に再編
平成27年	4月	テクニカルコースをアビリティコースに再編
平成29年	4月	アビリティコースを求職者向けコースに改称
平成30年	4月	カレッジコースを技術専門コースに改称
令和5年	3月	学校愛称を「さんテク」に制定

電気

System科

定員15名
期間2年

電気工事から制御、設備保全まで、電機業界のあらゆる分野で活躍できるスペシャリストを目指します。

電気工事、電気制御、空調設備などの知識と技術を学びます。国の認定を受けた養成施設ですので、校内で実施する試験に合格することで、「第二種電気工事士」の資格を取得することができます。

取得可能資格

- ・ 第一種電気工事士（試験合格）
- ・ 第二種電気工事士（校内試験で取得可）
- ・ 工事担任者（第二級デジタル通信）
- ・ 2級電気工事施行管理技士補
- ・ コンピューターサービス技能評価試験（表計算3級）
- ・ ガス溶接技能講習
- ・ 低圧電気取扱者特別教育
- ・ 足場の組み立て等作業従事者特別教育
- ・ フルハーネス型安全帯使用作業特別教育

修了生からのメッセージ

徳寿工業株式会社 勤務 植松 陽斗さん
現在、施工管理（現場監督）補佐の仕事をしています。大変なこともありますが、とてもやりがいを感じることが出来る仕事です。学校で得た資格や知識、技術が活かされることがたくさんあります。先生方も熱心に指導してくださり、多くのことを勉強することができたので、この学校を選んで良かったと思っています。

指導員からのメッセージ

電気システム科 木内 指導員
電気システム科では2年間の在学期間中に、第二種電気工事士をはじめとした様々な資格を取得することが可能です。
電気は難しいけれど興味はある方、一緒に電気システム科で学びませんか？私たち電気システム科の指導員が一杯サポートします！

本訓練科を
WEBで確認！



活躍できる業界・職種

- ・ 電気設備工事会社（電気工事、通信工事など）
- ・ 電気機械制御会社（電気保全、配電盤製造など）
- ・ 設備管理会社（空調設備保守、消防設備保守など）

履修科目（カリキュラム）

- ・ 1年次 電気理論、電気機器、施工法、電気設備、製図、材料、測定および試験法、工作実習（電気工事実習）、PC操作基本実習、安全衛生作業法 ほか
- ・ 2年次 電子工学、電気通信、制御工学、消防設備、測定基本実習、回路図作成、組立実習、組立・調整・検査実習、制御実習、応用実習 ほか



電気工事实習

与えられた図面に基に、スイッチ、コンセント、照明など、実際に使用されている電気機具をケーブルで接続、配線し、電気工事に必要な技術と知識を学びます。また、様々な場面に適応できる電気工事士を目標に実習を積み重ね、第二種電気工事士資格取得、第一種電気工事試験合格を目指します。



電気制御実習

電気制御は電気信号を利用して機械や設備をコントロールする技術で、現在では電気で作動するほとんどの機器に制御技術が導入されています。PLC 制御実習では制御の基礎から学び、制御プログラムを作成します。写真は作成したプログラムで、ランプの点滅タイミングを制御しています。



制御盤組立実習

制御盤組立では、機器の取り付けや配線を行い、制御盤を組み立てます。回路図から配線方法を考えて結線し、動作確認まで行います。少しでも配線を間違えると、動作しなくなるため慎重に配線を行う必要があります。写真はエレベーターを上下させる制御盤を組み立てているところです。



定員20名
期間2年

自動車

工学

Kogyaku

科

日々進化し続ける自動車技術に対応できる、
技術者を目指します。

二級（自動車・二輪）整備士に必要な知識と技術を中心に、電気自動車やハイブリッド車等の最新技術についても学びます。また、国の認定を受けた養成施設ですので、実技試験が免除され、在校中に「二級自動車整備士学科試験」を受験することができます。

取得可能資格

- ・二級自動車整備士（総合）
- ・二級自動車整備士（二輪）
- ・ガス溶接技能講習
- ・アーク溶接特別教育
- ・電気自動車等の整備作業に係る特別教育



エンジン分解・組立実習

自動車の心臓であるエンジンの整備は、丁寧かつ正確な作業が求められます。実習では、車体から取り外したエンジンや足回りの部品を分解・清掃・組立て、再度車体に組付け復元し、正しく作動するように調整することで、一連の整備技術を習得します。



トランスミッション整備実習

トランスミッションは、エンジンから出力された回転運動を、走行条件に合わせて増減や逆回転させてタイヤへと伝える構成部品です。特にオートマチック車の場合、変速を自動で行い機構が複雑になるため、整備には高度な技術が必要になります。



スタータ点検実習

スタータは、エンジンを始動させるために必要な装置であり、スタータが正常に動作しなければ、自動車は走行出来ないので、スタータの検査は重要な検査項目の一つです。実習ではスタータの構造を十分に理解し、外部より電気を供給し、動作確認を行います。



修了生からのメッセージ

香川トヨタ自動車株式会社 勤務 横山 直季さん
自動車工学科では、自動車の仕組みや構造を基礎から学ぶことができ、エンジンの分解組立や故障診断などの実習も実際の車両で行います。就職後も自動車工学科で学んだ事が活かされており、とても実践的な授業を受けられていたことが分かりました。皆さんも自動車の未来を支えるエンジニアになりませんか。



指導員からのメッセージ

自動車工学科 宮川 指導員
自動車工学科では、自動車の構造や整備知識について、基礎からしっかり学ぶことができます。実践に強い技術者の育成を目指し、少人数体制の実習で実際に触れて学ぶことを重視しています。自動車に興味があれば大丈夫、私達と共に学び、自動車整備士を目指しましょう。

本訓練科をWEBで確認!



活躍できる業界・職種

- ・国産・輸入車ディーラー（自動車修理・点検、車検など）
- ・自動車検査機関（検査、登録など）
- ・建設機械整備業界（修理・点検・定期自主検査など）
- ・カーショップ（カー用品取り付け、点検など）

履修科目（カリキュラム）

- ・1年次 生産工学概論、自動車の構造及び性能、電気及び電子理論、燃料及び潤滑剤、自動車整備法、機器の構造及び取扱法、工作作業、測定作業、自動車整備法、自動車検査作業法 ほか
- ・2年次 力学数学、自動車の構造及び性能、電気及び電子理論、自動車整備法、検査法、法規、工作作業、測定作業、自動車検査作業、二輪自動車整備 ほか

取得可能資格

- ・ 2級建築施工管理技士補
- ・ 2級建築士（修了後受験可）
- ・ 建築大工技能検定2級・3級
- ・ 建築CAD検定2級・3級
- ・ 表計算3級技能評価試験
- ・ 足場の組み立て等作業従事者特別教育
- ・ フルハーネス型安全帯使用作業特別教育

建築

System科

定員15名
期間2年

未来を担う建築技術者を目指します。
木造建築や鉄筋コンクリート造建築を中心に、建築物の設計・施工技術、CAD操作を学び、建築技術者として必要な専門的な知識と技術を習得します。また、在学中に「2級建築施工管理技士補」など、就職に有利となる多くの資格を取得することができます。



鉄筋コンクリート実習

ビルや学校など、多くの建物で見られる鉄筋コンクリート構造建物について、実際の施工を通して、施工技術に加え施工管理技術について学んでいきます。また、コンクリートの製造過程の見学や、鉄筋コンクリート構造に使用されるコンクリートや鉄筋などの強度試験等を通して、使用材料についての理解を深め、安全で持続可能性を高める建築技術を身に付けます。



建築製図実習

建築製図通則を理解し、製図の知識や作図方法について学びます。図面トレースを通して建築に必要な図面や建築設計の方法を習得します。住宅設計では、各自で建物のプランやデザインを考え、図面作成や模型を製作し、プレゼンテーションを行います。また、2級建築士の実技試験（設計）対策を行います。



建築CAD実習

現在、建築業界で多く活用されているCADソフトの操作法を学び、建築CAD検定試験合格を目指します。また、様々な図面の作図方法について学び、建築設計分野や建築施工分野で活用できる知識・技術を身に付けます。



修了生からのメッセージ

谷口建設興業株式会社 勤務 梅林 遥登さん
高等技術学校は少人数のクラスのため、先生と生徒の距離が近く、気軽に話しかけて質問が出来ます。また、学校で学んだ知識が今の仕事にも役立っており、実践的な内容を学べていたことを実感できました。製図やCAD、木造施工の実習のほかにも、鉄筋コンクリート造に関する実習もあり、ほかの学校では経験できないカリキュラムで、就職する時の幅が広がります。



指導員からのメッセージ

建築システム科 藤阪 指導員
建築システム科では技術者として必要な知識を基礎から学ぶ事ができます。他の学校では学ぶことができない実習が数多くあり、体験を通して建築技術を学ぶことができます。2年間勉強し、即戦力となる建築技術者を目指しましょう。

本訓練科を
WEBで確認！



活躍できる業界・職種

- ・ 建築施工会社（施工管理、専門技術者など）
- ・ 建築設計事務所（設計、工事監理など）
- ・ 住宅関連会社（内装、設備、CADオペレーターなど）

履修科目（カリキュラム）

- ・ 1年次 建築概論、構造力学、建築構造、建築計画、建築生産、建築設備、測量、材料、工作法、安全衛生作業法、器具使用法、工作実習、木造建築施工実習、パソコン実習、CAD実習 ほか
- ・ 2年次 関係法規、建築設備、施工法、規矩術、仕様・積算、測量実習、施工技術概論、建築施工実習、内装施工実習、設備施工実習、積算実習、CAD実習 ほか

機械

System 科

定員 10 名
期間 2 年

取得可能資格

- ・技能検定機械製図CAD 2級・3級
- ・技能検定普通旋盤 2級・3級
- ・技能検定機械検査 3級
- ・技能検定 NC 旋盤 3級
- ・ガス溶接技能講習
- ・アーク溶接特別教育
- ・低圧電気取扱者特別教育

機械分野における「設計」「加工」「溶接」を中心にモノづくりに必要な知識と技術を学び、活躍できるエンジニアを目指します。

コンピュータ制御機械・旋盤・フライス盤など工作機械を用いた加工技術や、3次元CAD・3Dプリンタを使用したモデリングといった、幅広い知識と技術を学びます。在学中には国家資格である「各種技能検定」を受験することができます。



CAD 実習

CAD 実習では、正確な図面が作成できるよう、機械製図法やCAD操作法を習得し、技能検定機械製図CAD 2・3級の合格を目指します。

また、パソコン上で立体的に表現する3次元設計技法について学び、作成したデータを基に、3Dプリンタや加工機械と連動させ製品を製作することで、機械部品等の一連の製作技術を習得します。



旋盤実習

旋盤は、金属を回転させながら削り目的の形に加工する工作機械で、現在、多くの企業で活用されています。

旋盤による加工は高度な技術力が求められるため、実習を通して様々な加工技術を磨き、旋盤加工で評価されている、技能検定普通旋盤2・3級合格を目指します。



溶接実習

溶接は、数ある部材接合の中でも部材同士を軽量かつ強固に接合する方法ですが、施工者の技術力に左右される接合方法でもあります。

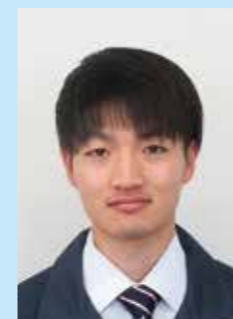
溶接実習では、ガス溶接、アーク溶接資格を取得し、練習を積み重ねることで、溶接技術の向上を目指します。



修了生からのメッセージ

四国ドック株式会社 勤務 清水 詠友さん

たくさんの実習の中で、自分の思うように好きなものを作ることが出来たので、今まで過ごした2年間より楽しかったです。分からないところは先生にすぐ聞けたので、加工や溶接など出来ることが増えていき、今では自分はものづくりが得意だと胸を張れます。実際に手を動かしてものをつくる楽しさは、今も仕事に活きていると感じます



指導員からのメッセージ

機械システム科 岩井 指導員

ものづくりの基本的な流れである、「考える→形を作る→組み立てる」というプロセスを、機械システム科では「設計」「加工」「溶接」といったカリキュラムとして体験できます。もちろん初心者の方にもゼロから丁寧に教えられるよう、生徒ごとに寄り添った指導を常に心がけています。ものづくりの面白いところを丸ごと味わえる、機械システム科からエンジニアを目指しましょう！

本訓練科を
WEBで確認！



活躍できる業界・職種

- ・機械部品製造会社 (NCオペレーター、組立工)
- ・船舶製造会社 (溶接工、組立工)
- ・機械設計事務所 (CADオペレーター、機械設計)

履修科目 (カリキュラム)

- ・1年次 機械工学概論、材料力学、材料、機械製図、機械工作法、製図、CAD実習、機械工作実習、切削加工及び研削加工実習 ほか
- ・2年次 NC加工概論、生産工学概論、電気工学概論、機械設計、機械保全法、NC加工実習、3次元CAD実習、機械設計実習、応用加工実習 ほか

Q 企業から学校へ求人はありますか？

学校への正社員求人数(人)

2100人



A: 高等技術学校への企業からの求人は人数換算で 2000 人以上(技術専門コース)で、そのほとんどが正社員求人了。数多くの求人の中から、自分にあった就職先を見つけることができます。右記は就職先の一例です。

電気システム科

讃州電気工事株式会社
株式会社四電工
伸興電線株式会社 他

建築システム科

旭化成住宅建設株式会社
大成ハウジング四国株式会社
日建リース株式会社 他

自動車工学科

香川いすゞ自動車株式会社
コマツカスタマーサポート株式会社
香川トヨタ自動車株式会社 他

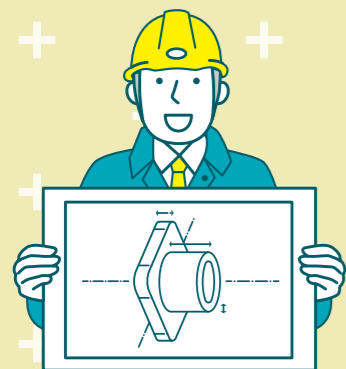
機械システム科

四国ドック株式会社
株式会社タダノ
ユニコム株式会社 他

Q 卒業後の就職状況を教えてください。

就職率

100%



A: 高等技術学校では、就職相談員や指導員が学生ひとりひとりの能力や希望に応じた職業紹介を実施しています。就職先の選択肢が多く、どのコースでも 100% の就職率を誇っています。(令和7年度・技術専門コース実績)

高等技術学校は

就職に強い!!

Q 講師一人当たりの生徒数は何人ですか？

コース全体の平均人数

6人



A: 上記は現在の定員からコース全体の平均を算出した人数です。訓練科により多少の違いはありますが、少人数クラスで、きめ細やかな指導を行っています。

技術専門コースの概要

学費等

- ・ 入学金 5,650 円
 - ・ 授業料 年額 118,800 円
(前期・後期で分納)
※免除規定がありますので、詳しいことは総務課までお問い合わせください。
 - ・ 教科書・作業服・工具類・教材費・総合保険 ※免除規定はありません。
- (令和8年度実績)
- 電気システム科 141,000 円程度
 - 自動車工学科 180,000 円程度
 - 建築システム科 104,000 円程度
 - 機械システム科 124,000 円程度

課程

- 高等学校卒業(大学・短期大学・専門学校を含む)を対象とした課程です。当校は県立の職業能力開発校ですので、教育訓練を通じて実践的な技術を身に付けることができます。また、各種資格試験の免除も受けることができます。
- ・ 訓練期間 2年間
- ・ 訓練時間 8:40 ~ 15:50
(土日、祝日を除く)

特徴

- ・ 高い就職率に結びつく手厚いサポート
- ・ 少人数制による充実した教育訓練
- ・ 充実した実習機器を使用した教育訓練
- ・ 企業実習などによる実践的な教育訓練
- ・ 経験豊かな指導員による充実した教育訓練
- ・ 研修旅行や学校祭などの学校イベント

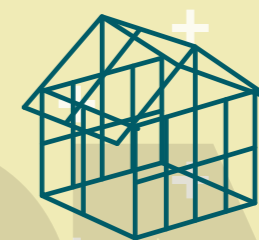
応募・選考

応募

- ・ 高校新卒者……当校に直接申し込み
- ・ 既卒者……ハローワークで相談の上、申し込み(40歳未満)

選考

1. 推薦入試
 - ① 学校長推薦・適性試験、面接
 - ② 自己推薦……適性試験、面接
2. 一般入試
 - 適性試験、基礎学力試験(択一式) 面接



年 間 スケジュール

◆4月

入校式

祝 入校！ここから二年間の
さんテク生活が始まります。



防災訓練

香川県防災センターから起震車をお借りして、
地震の体験をしました。



◆5月

球技大会

クラス対抗で
ボウリングを行い、
日ごろのストレスを
発散しました。



◆7月

オープンキャンパス

各科の先生が体験授業を通して、
ものづくりの面白さを伝えます。



◆8月



全国若年者 ものづくり競技大会

校内の予選大会で勝ち上がった人は、
全国の猛者と、磨いてきた技術を競います。

◆6・9月

企業見学

企業見学では普段見られない、
大規模な施設を見させていただきました。



◆11月

さんテク祭

さんテク祭の目玉である上棟式は、
多くの人があつまると人気の催し物です。



◆11・12月

研修旅行（自動車工学科）

自動車工学科はモーターショーや
自動車関連企業の工場見学に行きました。



研修旅行（建築システム科）

建築システム科は京阪神の建築物の見学に行きました。



◆2月

全国若年者 ものづくり競技大会 予選

二年生の夏にある、全国大会に向けて
一年間磨いてきた技術を披露します。



◆3月 **修了式**

高等技術学校で培った知識と技術を持って、
技術者として旅立っていきます。



XやInstagram等のSNSでも、
イベントや訓練の様子を公開
しています。